

大学院看護学研究科 博士前期課程		授業 科目	ジェンダー学研究 Gender Studies			担当 教員	高田昌代(専任) 川畑真理子(非常勤)	
開講年次	1年次後期	単位数	2単位	科目 分類	共通科目 研究方法科目	授業形態	講義・演習	
選択必修	選択	時間数	30時間			使用教室		
授業の目的及びねらい		<p>研究方法科目として、文献を読みこなして要約し、さらにその内容を批判的に検討するために他の文献と比較し、自己の見解を創出してレポート、さらには論文にまとめあげる力を養成することを目的とする。ジェンダー学は、1960年代後半以降の第二波フェミニズムのなかで、既存の学問を女性の視点を取り入れることにより見直そうという、女性自身の研究活動により生み出された女性学から発展してきた。社会的性差であるジェンダー意識が、ジェンダー学の論文だけでなく社会学、看護学の論文中にも存在する。ジェンダーの歪みを知り進めることは、正しくものごとをみるには不可欠である。研究者としてジェンダーフリーの視点で論文をよみ、書けるように演習において自らのジェンダー意識を知り、論文演習を進める。</p>						
授業のキーワード		ジェンダー、フェミニズム、女性の人権、両性の平等						
講義回数	授 業 内 容 及 び 計 画							
第1回 ～ 第15回	<p>最初にジェンダーに関する基礎的な問題を講義する。 その後、各受講者が自らの問題意識に基づいた文献を調べ、報告してもらう。 自らの人生や生活の中にあるジェンダー意識を自覚し、看護者として対象者への対応について演習を行う。</p>							
テキスト	講義演習に際しては、適宜プリントを配布する。							
参考文献	随時紹介する。							
成績評価の方法	授業時の報告(100%)とプレゼンテーション。							
教員から学生へのメッセージ								